

Study Abroad Report

University of
California Irvine

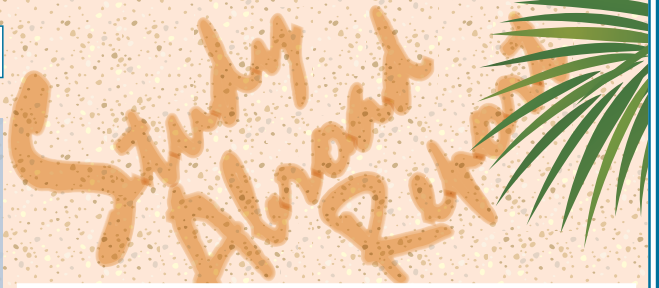


2018.2/4 ▶ 3/3

常磐大学アメリカ研修



- Program Calendar p,2
- English Class p,3
- Project A p,4-5
- Project B p,6-7
- Project C p,8-9
- Orange Gakuen..... p,10
- Interchange with the Japanese Subject ... p,11
- Conversation Partner p,12-13
- Optional Tour..... p,14-15
- Host Family p,16-17
- Final Comments p,18-19












UNIVERSITY OF CALIFORNIA IRVINE

TOKIWA UNIVERSITY

CONVERSATION & CULTURE P FEBRUARY 4 – MARCH 3, 2018 (ATTACHMENT B)

THIS CALENDAR IS REPRESENTATIVE OF THE INTENDED PROGRAM TO BE PROVIDED. LOGISTICAL DETAILS MAY BE CHANGED AT THE SOLE DISCRETION OF THE UNIVERSITY.

SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
 February 4	Meet at Building CE5 for: • Program Orientation • Conversation Partner (CP) Meetings • Site Visits • Optional Activities					Weekly FREE Activities Mondays: Runday, 6pm – 7:30pm Tuesdays: Basketball, 5pm – 7pm Thursdays: Chill at the Anthill Pub 5pm – 7pm
ARRIVAL 10:20a @ LAX, UA33 Homestay Orientation 2:00pm – 3:00pm CE1 2070	WELCOME TO UCI! Orientation, Testing, Welcome Lunch, & Campus Tour 8:00am – 3:00pm	Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm CP MEETING 2:00pm – 5:00pm	Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm	Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm CP MEETING 2:00pm – 5:00pm	Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm	SAMPLE ACTIVITY  Disneyland or California Adventure 8:30am – 11:00pm
11 OPTIONAL ACTIVITY  Hike Peter's Canyon 9:00am – 2:00pm	12 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm	13 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm CP MEETING 2:00pm – 5:00pm	14 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm	15 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm CP MEETING 2:00pm – 5:00pm	16 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm	17 OPTIONAL ACTIVITY  L.A. Tour 9:00am – 9:00pm
18 OPTIONAL ACTIVITY  Tet Festival 3:30pm – 7:30pm	19 PRESIDENT'S DAY (NO SCHOOL) 	20 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm CP MEETING 2:00pm – 5:00pm	21 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm	22 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm CP MEETING 2:00pm – 5:00pm	23 C&C Cultural Activity with Teachers & Classmates 8:00am – 1:00pm	24 SAMPLE ACTIVITY  Universal Studios 8:30am – 9:30pm
25 OPTIONAL ACTIVITY  Anaheim Ducks Hockey Game 2:30pm – 8:30pm	26 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm	27 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm CP MEETING 2:00pm – 5:00pm	28 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm	March 1 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm CP MEETING 2:00pm – 5:00pm	2 Speaking & Listening 10:00am – 11:20am American Culture 11:30am – 12:50pm Graduation Luncheon 1:00pm – 3:00pm	3 DEPARTURE 11:00am @ LAX, UA32 

私たちはUCI (University of California Irvine) で、他の大学や他の国の生徒と一緒に、レベル別のクラスでリスニングやリーディング、アメリカ文化などについて一ヶ月間学習しました。

B クラス

私たちのクラスでは June Lau 先生が教えてくれました。このクラスでは主に基礎レベルの英語を学びました。最初は緊張している生徒が多かったのですが、先生がクラスの雰囲気を和ませてくれたおかげで、生徒同士の距離感や先生と生徒の距離感が縮まったと思います。そして英語を楽しく学ぶことができ、英語力の向上につながりました。

C クラス

私たちのクラスではリスニングとリーディングをネイティブスピーカーと実際に話すことによって学習していきました。最後の授業では実際に自分たちでネイティブスピーカーの人たちにとってアンケートを元にスピーチを行いました。日本人の他にもチリとブラジルの生徒もいて、異文化コミュニケーションを取ることができました。また卒業セレモニーに向けて洋楽を聞きながらクラスメイト全員で踊ったり、仲を深めることができました。

D₂ クラス

私たちのクラスでは Emily 先生に教わりました。テキストを学習しつつもスピーキングが主体の授業でした。ペアになって決められたトピックについて話し合ったり、いくつかのプレゼンテーションを英語でしたりしました。日本人の生徒が多かったのですが、韓国から来た生徒もいたのでお互いに高め合いながら英語を勉強できたと思います。一番印象に残っていることは、卒業セレモニーに向けてクラスで歌を練習したことです。その歌は韓国から来たクラスメイトが作詞作曲してくれたものです。一か月間、仲間と楽しく学習できてよかったです。

アメリカンカルチャー

アメリカンカルチャーの授業では家族や教育などの現代のアメリカの暮らしについて学習しました。最後の授業では、アメリカの様々な地域の世界遺産などを調べながらアメリカロードマップを作成しました。また、ネイティブスピーカーに自分たちでアメリカの教育や家庭環境などについてのアンケートを行い、自分たちの意見を述べながらスピーチを行いました。

卒業セレモニー

セレモニーの最初には一人一人名前を呼ばれて、担当の先生方から卒業証書を受け取りました。そのあと私たちはクラスごとに歌を歌ったりダンスを踊ったり、生徒自らが作詞作曲をした曲をみんなで歌ったりなど様々な発表をしました。生徒が先生に花束を渡していたクラスもありました。またセレモニーでは、お菓子やパンを食べたり飲み物を飲んだりしました。日本の卒業式とは違い、自由な雰囲気で行われました。



私たちの担当した企画の主な目的は、県北・県央製造業の対米輸出・投資、各企業が行っている技術開発と今後の海外発展を調べることです。MD&M WESTという展示会へ実際に行き、世界から集まる機器に触れ国境を越えた企業発展を学びました。

Member

- ・ Yuto Kaneta
- ・ Ayaka Isozaki
- ・ Momo Toribami

西野精器製作所は何よりも技術力が高い会社です。その技術力はゴマ粒ほどの小ささでも図面があれば大体は出来るということです。また若い人が多く機械を使いこなす社員がいるという点でも魅力があります。2014年には海外受注にも成功した海外発展する予定の会社でもあります。コストダウンするにあたって心がけていることは、不良を作らないことはもちろん、各自が出来る技術を平等にする、世の中の働きを常に見るということでした。また西野さんご本人が社長になり苦労したことは、社長になって大変さに気付いたと言います。そして最後に社会に出るために今何をしておくべきかという質問に対し、情報が早い今は常に学び、自ら動き視野を広げていくべきだという有難いお言葉をいただきました。



ひたちなか商工会議所では、特産物をPRするためにご当地グルメを考案したり、そのほかにも地元ひたちなかの中小企業をサポートしたりしています。小泉部長にインタビューをしました。中小企業をサポートしようと思ったきっかけは、日本の中小企業は、素晴らしい技術を持っておりチャンスを提供したいという思いからだそうです。企業環境の違いについて聞いたところ日本では商品を自分の会社だけで作るという考え方（垂直統合）があります。一方で、アメリカは、自分の会社でできないことは、他社と連携し仕事を任せる（水平分業）考え方です。アメリカと日本とで環境に大きく違いがあり興味深いと思いました。最後に、海外に企業が進出するメリットを聞きました。実際に海外に行ってみることで新しく気づいたり、発見したりすることがあるそうです。

ロサンゼルスコンサルティング会社「(株)グロービッツ」社内にある、ひたちなか商工会議所のLA Officeを訪問し、グロービッツ社の春山社長にインタビューをしてきました。

海外でビジネスを広げるには、日本人としての強み、弱みを理解することが大切で、早とちりせず、冷静に物事を見極められることが重要だとおっしゃっていました。

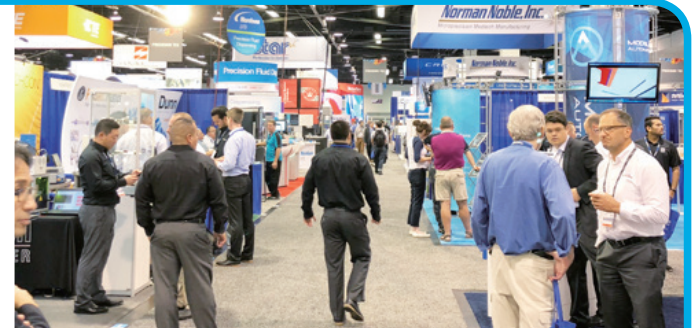
'GOOD'と言われたことをそのままの意味でとらえてはいけないなどの話もあり、文化の違いにいかにかうまく対応できるかということや、アメリカ人と日本人はそもそも考え方が真逆で、英語を話せることよりもアメリカ人を知っている人のほうが大事という、日本企業の海外進出に必要なことなどを話して下さいました。



Project A

MD & M WEST

MD & M WESTというのはアメリカ(カリフォルニア州)のアナハイムという場所で毎年行われている米国最大の医療機器・製造技術の展示会です。



世界各地の最先端の技術を持った企業が、それぞれブースを設けてアピールをしていました。写真は西野精工さんのブースで、西野社長がお忙しい中にも関わらず展示物について丁寧に説明してくださいました。商談に来ている人も多く、硬い雰囲気も多少ありましたが、米粒大の部品から大きな機械まで世界の最先端の技術を目の当たりにできる、とても刺激的な会場でした。



金田

出発前の企業へのヒヤリングや、現地でのインタビューでは、社長さんの自信に満ち溢れた商品に対する熱い思いなど、大学の授業ではなかなか聞くことのできない貴重なお話を聞かせていただきました。また、現在に至るまでの経歴など面白い話も多く聞くことが出来ました。

MD&M Westでは、いままで感じたことのないような大人の世界で、世界の最先端の技術が集結しているとても刺激的な場所でした。いろいろな企業のブースを見ると初めて目にするものばかりでとてもワクワクしていました。いままで触れたことのない世界を見ることができ、今後役に立つとても濃い体験ができました。

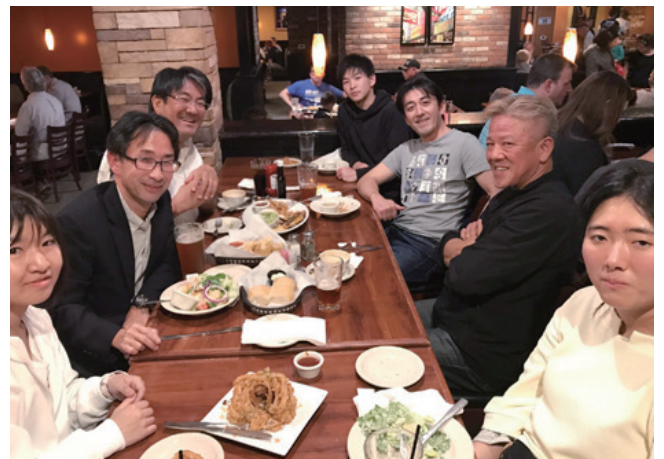
鳥喰

研修前からインタビューを行ったり、医療機器の展示会等に参加したりして日本の中小企業の技術が素晴らしいことに気づきました。また、中小企業の海外進出に向けての取り組みや学生のうちにしておくべきことなど貴重なお話をいただくことが出来ました。もっと海外の方に日本の繊細な技術を知ってもらいたいと思いました。これからは、私自身の視野を広げて海外の文化にも目を向けたいと思います。

MD&M West参加後に、TONYROMA'Sというレストランで、ひたちなか商工会議所の小泉部長、野上技研の野上社長、シリコンバレーでコンサルタントをしている遠藤さんと夕食をいただきました。茨城の企業や経済等の話から、自分たちの将来の話なども相談に乗ってくださいました。

磯崎

私はこの企画で、普段関わることのない医療機器や減多に行くことのできないMD&M WESTの米国最大の医療展示会に行くことが出来沢山の事を学ぶことが出来ました。一つは、展示会での世界から集められた機器の技術の素晴らしさです。実際に工場や現場を目の当たりにすることで普段見ることのできない技術過程を見ることが出来るからです。そしてもう一つは、各会社の社長さんからの貴重なお話と海外進出を目指す製品の技術力です。国境を越えて何かを伝えるということがどれほど凄いことなのか、話を聞く中で学びました。最後に西野社長から有難い忘れることのない良いお言葉をいただきました。それは「自ら挑戦し動いて行く」「恥をかけた分成長できる」ということです。貴重な経験をすることが出来本当に良かったです。



Sonyプログラムに参加して実感したこと

海外で働くことの意義& 古澤さんの生き方について

海外に重点を置き、海外で働くことの意義や重要性について考えるきっかけができました。価値観や知識を広げる良い機会と同時に、古澤さんの人生規模の大きさから精神面での強さも伺うことができ良い経験をさせていただきました。自分の人生を見極める重要な時期でもあり、貴重な時間でした。



カニ料理交流会

西海岸特有の魚料理を楽しみながら食べることができました。

日本の魚と違って弾力性があり、ジューシーでした。魚の種類も豊富で、様々な魚を手にとって食べる経験も良い思い出になりました。



～サンディエゴの観光～



海カモメ

(Las Flores View Pointにて)

大自然に囲まれており、ここでは特にカモメの群れが多く、カモメに餌を与える人たちが多くいました。カモメだけでなく、リスも生息しており日本にはない珍しい光景を目にすることができました。

フィッシュ&チップス

(Two Paddles Fish & Grill)

とにかく日本よりもサイズが大きく、食べるにはかなり満足度が高いです。さらに、価格も安く、野菜とのバランスが取れて健康に良い食事だと思います。油もかなりのついでに美味しかったです。

1日目



アウトレット

(Carlsbad Premium Outlets)

日本よりも発売されているグッズが多く、価格が特に安かったことが印象的です。また、デザインも種類も豊富でした。さらに、店舗数も多く時間内に回ることができませんでした。しかし、その時間内に楽しくショッピングができました。

2日目



帆船 (スターオブインディア号)

見渡せば海が広く、景色もキレイでした。観光客で賑わう様子も伺うことができ、観光地としてはベストスポットと呼べるくらい良い場所でした。海の様子を見ながら食事を楽しむこともできるので、十分に満足できます。



シンシア 原
cynthia Hara

オレンジ学園の校長先生。
アメリカで日本語を教えています。
子供だけではなく、大学生や社会人も勉強しに来ています。

原先生が教えてくれた生きるためのコツ

- ・海に突き落としても手助けはしません。サーチライトで照らすくらいでいいのです。
- ・一からすべてを説明してもらえないと思わないほうがいいです。
- ・上の人が変われば下の人も変わります。
- ・そして親が変われば子どもも変わります。
- ・子育ては親育てでもあります。親が成長しないと子どもはついていけなくなります。
- ・人間力があれば目をかけてもらえます。一生懸命働けばなおよしです。
- ・人生というジグソーパズルはある程度数がそろわないとどんな絵かわかりません。年を経てから自分の人生がわかります。
- ・共通の話題を持ったコミュニティで不安を吐き出せば楽になれます。
- ・不安を吐き出す場所は共通の話題を持ったコミュニティがいいです。同じ苦しみ分かち合えるからです。

オレンジ学園は日本語を学ぶだけの場所ではありません。言葉だけで知れない日本の文化も学べます。

ご縁があり、今では日本でも見ることが少ない立派な雛人形が飾られました。子どもたちは、初めて見るお雛様に興味津々でした。お雛様も久々(らしいです)に外に出て喜んでいるようでした。



オレンジ学園には子供だけでなく社会人の方も日本語を勉強しに来ています。

デイビットさん(仮名)は、日本に出張するビジネスマンでした。



ボーイング社

アメリカに本拠地がある航空宇宙機器開発製造会社。現在のアメリカで唯一の大型旅客機メーカー。日本にも事業を展開している。



オレンジ学園の生徒

原先生はリーダーとしても素晴らしい人です。

とある大企業の社長が先生に日本語を教わっているそうです。しかし勉強は口実で、本当は先生と話したいのだと思います。

社長は孤独との戦いをしなければなりません。

その孤独を共有できるのは誰もいません。しかし理解できる人はいます、同じ社長です。

パナソニックの創設者である、松下幸之助氏にも同じ社長の友人である、サントリーの創業者、鳥井信次郎氏がいます。

先生もその社長も孤独だが、1人ではない戦いをしています。



Project C

磯和 美佑

原先生の話を聞いて、いろんな考え方があることを改めて知ることができました。原先生はとても明るく、優しいフレンドリーな方だなと思いました。短い時間の中で様々な経験を教えてください、アドバイスも教えていただく事ができました。日本とアメリカは考え方が違うので原先生の意見を聞いて、こういう考え方もある面白いなと思いました。なかなか自分から行動することができない私にとって今回、原先生の話聞いたことで行動しないで後悔するより行動してから後悔した方が絶対良かったと思えるので積極的に参加してみようと考えられるようになりました。



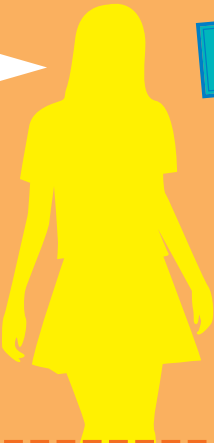
糟谷 未来

原先生はアメリカで、駐在員やハーフの子供たちに向けて日本語教室を開いている先生です。しかし日本語だけではなく、親御さんに対して、とても教育にも熱心な方だと思いました。また、実際に生徒さんや保護者の方と交流してみて、とても信頼されている方だと思いました。インタビューの際も、私たち一人一人のことをしっかりみてくれていて、自分のことを見透かされたような感じていた。



石川 莉那

原先生のこれまでの人生経験や生き方、考え方など様々な話を聞いて、とても刺激をもらいました。原先生はとても気さくで優しく、愛に溢れた本当に素敵な方でした。お話の中で一番印象に残っている言葉は「人生は何が起こるか分からない」ということです。人生は人との出会い・関係で変わり、辛いこと、嬉しいこと、楽しいこと、悲しいことすべての経験を含めて私たちの人生であり、それをどう生きるか、どう前向きに考えるかが大切だと分かりました。また、何事も後回しにせず、思ったときに行動・実践し、チャンスがあれば挑戦し、自分が後悔しないように生きることが大切だと学びました。自分の限界を自分で決めるのではなく、可能性があるならそのために努力できる人になりたいと思いました。たくさんの素敵なお話、お言葉をいただいて、自分のこれまでの考え方や行動を見つめ直す良い機会になりました。原先生との出会いを与えてくださった菅田先生に本当に感謝しています。



飯村 和樹

強烈な人でした。原先生がどんな人かは事前に聞いていて、濃い人なのだろうなと思っていましたが想像以上でした。テレビで特集を作れるほど濃い。

先生が濃ければ子供たちもまた個性的でした。グイグイこちらに踏み込んできました。子供たちの国際的な背景もそれぞれ異なり、アメリカ人やアジア系のハーフの子供や純日本人だけども、親の都合でアメリカに住んでいる子供もいました。ご両親の話で、アメリカにきたばかりの頃は子供に友達ができるか不安に思っていたのですが、子供はそんな心配をよそにお構いなしに英語を話し友達を作るそうです。そんな元気いっぱいの子供たちですが、一旦授業が始まると真剣に取り組んでいました。その姿は実際の年齢より上に見えました。なぜ私は子供たちをどこか大人びて見えると感じたのでしょうか。原先生に聞いてみました。原先生は「オレンジ学園では自立して自分の意見を持つことを学んでいるから」と答えました。自分の足で立っている姿が大人びて見えるのかもかもしれません。子供でも侮れない。そう感じました。

原先生と話し、海外で働く上で大切なことは「成長」あるいは「吸収」だと思いました。日本とアメリカは違います。しかし海外に合わせることを、「適応」と言うのではあまりにもったいないです。日本に帰ったら海外でのスタイルを捨てることになってしまいますから。日本人として、海外の良いところを活かすことが大切なのではと思います。





オレンジ学園 交流会

オレンジ学園とは？

様々な理由でアメリカで暮らす
子供たちのための日本語学校です。

英語は大学生より
上手かも!?



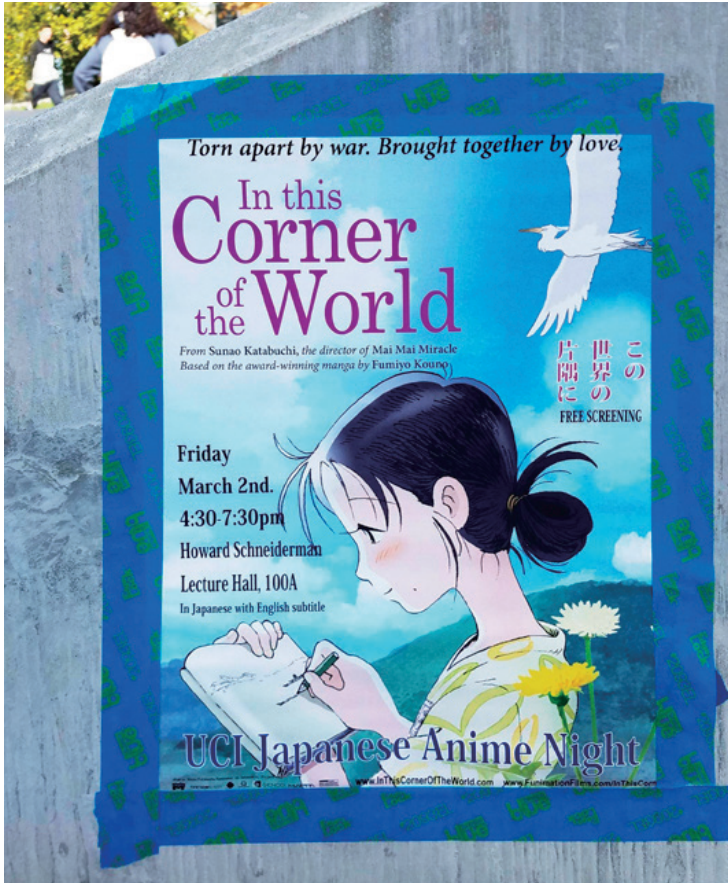
子供たちの質問に
答えたり、
お母さんたちの手作りの
おにぎりや唐揚げ、
ブラウニーなどを
頬張りました。
日本食を食べていなかった
私たちはおにぎりに
大興奮でとても美味しく
いただきました。



とても元気のいい
子供たちでした!

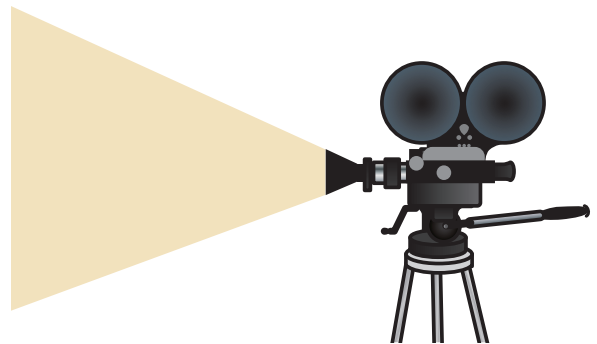
Interchange with the Japanese Subject

私たちは、現地の大学生と共に日本語を学ぶ授業に参加しました。このプログラムでは、現地の大学生が第二言語として受講を希望している学生が多く、日本語を話す私たちにとって大きな刺激となりました。



© こうの史代・双葉社/「この世界の片隅に」製作委員会

日本で公開されていた戦争の映画を日本語学科の学生と一緒に見る機会があり、日本の文化や行事から日本の良さを伝える良いきっかけになりました。また、日本語を意欲的に学ぶ学生の姿を実際に体感することができ、日本語に対する熱意を深く感じることができました。



UCI Japanese Anime Night (映画) の後の食事会の様子

感想

映画を見たあとに、一緒に食事をする機会を持つことができました。日本語の習得に悩む学生もいましたが、本当に日本が好きだという学生が多く、日本語を必死に学びたいという気持ちを強く感じることができました。





Jasmin group

私たちのグループの担当をしてくれたジャスミンはいつも優しくみんなに積極的に話しかけてくれました。CPでは寮で卓球やジェンガーをしたり、ボバ(タピオカ)を飲んだり、ゲームやバスケをしました。バレンタインデーの時にチョコをくれたり、DJ(ダイヤモンド・ジャンボリー)へみんなでご飯を食べに行ったりもしました。卒業式や日本へ帰る日のお見送りの時、会いに来てくれたのが嬉しかったです。

Conversation Partner

Marissa group

私たちのパートナーのマリッサは、広い学校内を歩いて案内してくれたり、ショッピングに付き合ってくれるなど、とても優しい人でした。最初の数回は、英語が通じなかったり聞き取れなかったりで、コミュニケーションをとるのに苦労しましたが、マリッサはゆっくり話してくれたり、簡単な英語に直してくれたり、一生懸命私たちと接してくれて会話が途切れることはありませんでした。バスケットボールや卓球などのスポーツなどでも仲を深めることができ、とても普段は出来ないような貴重な体験をすることが出来ました。





Rosie group

私は、今回CPのプログラムに参加し現地の大学生と交流を持ち、有意義な機会を得ることができて良かったと実感しています。CPでは、現地の大学生との交流を通じて一緒に食事をしたり、ショッピングを共にすることで快適な時間を過ごすことができました。その中で、自分自身の英語力の向上に努める一つの良いきっかけとなりCPでの活動を円滑に進めることができましたと思います。そういった中で、現地の歴史や文化にも触れることができたのでCPを通じて幅広い価値観を養うことができました。貴重な体験を共に過ごすことができたことを誇りに思います。



DS感想

私たちはDJ(ダイヤモンド・ジャンボリー)に連れて行ってもらい韓国料理を食べました。DJには韓国料理のお店だけではなく、沢山のお店がありました。韓国料理を現地の大学生と一緒に食事をしたことで更に交流を深める事が出来たと思います。韓国料理を食べた後にはボバ(タピオカ)を飲みました。みんなで過ごしている時間はかけがいのない時間であると改めて肌で感じる事が出来ました。



Optional Tour

LA Tour 18. Feb



グリフィス天文台



ボリューム満点のピザ



アウトレット



砂浜にのびる人影



夕日に感動!

サンタモニカ



ジューシーなお肉

ロサンゼルス有名な場所をいろいろまわり印象に残るツアーでした。最初に行ったグリフィス天文台では、貴重な宇宙の映像や惑星の動きをみることができ、時間を忘れるくらい楽しめました。次に行ったアウトレットは、スポーツ用品から家電製品まで幅広い品ぞろえが魅力的で、中心にある公園では、芝生に転がって休むことが出来てリラックスして過ごすことが出来ました。最後に行ったのは誰もが知っているサンタモニカです。ほかの場所では見ることのできない絶景を、アメリカの風を感じながら眺めるその時間は間違いなくLAツアーで一番幸せでした。ただ、ロサンゼルスはいろんな人がいるので、なるべく少人数で行動しないことをお勧めします。

Optional Tour

Universal Studio

24. Feb



スフィンクス



ハリーポッター

ハリーポッターはここでも人気



Universal Studio

アメリカのUniversal Studioは日本より規模が小さかったです。何も考えずに歩いていたら5分くらいで端まで着いてしまって退屈しそうだと思いましたが、日本にはないアトラクションがありとても楽しめました。とくにRevenge of the MummyとSimpsons Rideの乗り物が楽しくて何回も乗りました。アトラクションだけでなく施設内をいろいろなキャラクターが道を歩いているので、好きなキャラクターと写真を撮れていい思い出になりました。

Disney 25. Feb

シンデレラ城



CASTさん nice shot !



It's so sweet!



BOMBER

日本の Disneyland や Sea よりも遥かに大きく、アメリカの Disney も名前が違うが Park と Resort がありました。ParkはBig Thunder, Space Mountain, Splash Mountainがありました。Tower Of Terrorがなかったです。日本にはないMatterhornというジェットコースターがあり、頂上のほうに雪男がいてすごい勢いで吠えられて怖かったです。シンデレラ城の前にキャストさんがいて声をかけると、写真を撮ってくれます。初めての人には缶バッジがもらえるので、探してください。一日では回り切れない広さですが、来年には新しいエリアが完成するので楽しみにしてください。日本では乗ることのできない乗り物に乗れるので、是非オプションツアーを利用して行ってください。

Host family

Tokyo →
Los Angeles

2018.2.4. - 2018.3.4.

私はYu家にホームステイをしました。来たばかりの頃は、家に帰るのも一苦労で他にも大変なことがありましたが、ルームメイトの小森先輩と協力し、解決しました。近くに日本人がいるだけで安心できます。母のChaolは厳しい人で、家の決まりを守らせるようになってきました。私はあまりに窮屈だと感じたので、相談役の里美さんに助けを求めました。取り次ぎをしてくれて、待遇は改善しましたが、里美さんはホストファミリーに主張してもいいんだとアドバイスをくれました。それからは大学のことや日本でのことを自然と話せるようになりました。私のホームステイは始めはよくないもので終わると思っていましたが、かえるときには得がたい経験の一つになっていました。



Kazuki Imura

私のホストファミリーはとても優しく陽気な家族でした。一月間お世話になるということで最初はとても緊張していましたが、おすすめのお店に行ったり、一緒に犬の散歩をしたりしたことですぐに打ち解けました。一番心配していた食べ物の問題も、苦手な食べ物を抜くなど、味付けを変える工夫をしてくれて難なく生活できました。アメリカの料理は本当においしくて、今まで食べられなかったパプリカに挑戦して食べられるようになりました。ホストファミリーに勉強を教えてもらったり、一緒に映画を見たりして有意義で楽しい時間を過ごすことができました。あっという間に時間が過ぎて別れるのが悲しかったです。また機会があれば会うことができたらうれしいです。



Takeru Chiba

私のホストファミリーは、マザーそして愛犬でした。マザーのPeneはとても親切で学校から帰宅すると暖かい笑顔で出迎えてくれました。愛犬のジャックは人懐こく朝起きてリビングに行った際も私のところに来てくれました。朝食はアメリカらしいシリアルとオレンジでした。マザーの作るご飯は美味しく何度もお代わりをしてしまうくらいでした。困ったことがあると優しく助けてくれたマザー。全てが新鮮で驚くことが多かったのですが何よりも洗濯の回数に驚きました。マザーは同じジーンズを3日間は穿くと言ってこれも異文化なんだと思いました。お別れをする時にマザーに言われた言葉が今でも心に残っています。それは 'Be proud of yourself.' という言葉です。この言葉を心にこれからも日々を過ごしていきたいです。



マザーや現地の方と仲良くなることができ本当に良かったです。1か月でしたがとても素敵な時間を過ごすことができました。

Ayaka Isozaki

私は、1ヶ月間のホームステイ生活を通じて日本との生活スタイルの違いを改めて実感することができました。ホームステイ先では、各家庭にルールがあり、そのルールに従って生活する義務があります。慣れない生活に戸惑いながらもホームステイの方々と良好関係を築きながら生活する環境はとても刺激的な毎日で充実感がありました。私のホームステイ先は特にルールが厳しく、毎日が自分への挑戦で有意義な日々を送ることが出来ました。英語を通じて多くのことを学ぶことが出来た貴重な経験でした。

イ先は特にルールが厳しく、毎日が自分への挑戦で有意義な日々を送ることが出来ました。英語を通じて多くのことを学ぶことが出来た貴重な経験でした。

Kento Komori

私たちがホームステイしたところはRod(父)、Betty(母)、Breana(娘)、Hunter(飼い犬)の四人家族だった。

初日にIn-N-outというお店で、初めてThe American Hamburgerを食べた。夜ご飯では、時間が決まっていたみんなで席に座り一日の出来事を話したり、HWの手伝いをしてくれた。夜ご飯のほとんどはRodが作っていて、武と二人で買ったroot beerやcokeで美味しい料理を食べるのが一日の楽しみでもあった。食事が終わるとみんなで映画やテレビを観たり、Hunterと遊んだりした。

Optional tourでDisneyにいけないことを話すと、休日に連れてってもくれた。本当の家族のように思えたし、とても充実して楽しかった。

気を使うわけでもなく、約1ヶ月間楽しく生活出来たことに家族へ改めて感謝をしなければいけないと思った。最初は自分が何を伝えようとしているのかすら曖昧だったが、この1ヶ月で積極性や聞こうとする姿勢全てにおいて成長したと思う。Rodたちにはすく感謝している。



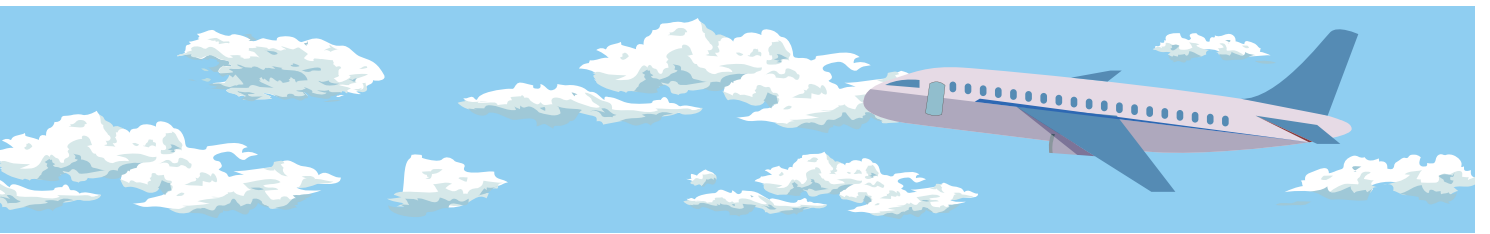
Yuki Kimura

私のホストファミリーは、ホストマザーのPeneさんと人懐こい犬のJackです。私は、以前にもホームステイを経験したことがあるのですが、今回のホームステイは1か月なので最初は、英語を話せるかどうか、アメリカで生活できるかが不安でした。そんな私にPeneさんは、優しく接してくれてほっとしたことを覚えています。また、温かい食事を用意してくれて、バレンタインデーには、テーブルの上にお菓子やHappy Valentine's Day!とメッセージが添えられて嬉しかったです。また、Peneさんは私に挑戦することの大切さを教えてくれました。最初の休日は、近くのショッピングモールに行くことでさえ大変でしたが、最後にはロサンゼルスやDisneylandなど遠い場所にも自分たちで行けるようになりました。

ホームステイを通して、英語だけでなくアメリカの文化も学ぶことができ充実した生活が送れました。PeneさんとJackには、本当に感謝しています。

ホームステイを通して、英語だけでなくアメリカの文化も学ぶことができ充実した生活が送れました。PeneさんとJackには、本当に感謝しています。

Momo Toribami



私のホームステイ先はホストマザーと、日本人留学生のしずの2人でした。

ホストマザーは、私としずのために美味しい料理をたくさん作ってくれました。マザーが仕事で夜遅くに帰ってくることもありまし



たが、早く帰ってくる日は3人でご飯を食べたり映画を見たり楽しい時間を過ごすことができました。

また、わたしが理解できるようにいつもゆっくり、聞き取りやすく英語を話してくれました。

しずとは、マザーがいないときに2人で映画を見たり、わたしの宿題を手伝ってくれたり、たくさん話をしました。

一ヶ月という短い期間でしたが、たくさん話をしして仲を深めることができました。

Miki Kasuya

私のホストファミリーは父のPaul、母のYvonne、兄のKyle、弟のDylanと犬が2匹、オウムが1羽でした。私にとって初めての海外でした。最初は英語でのコミュニケーションが取れるか、与えられた環境で生活できるかが不安でした。しかし、ホストマザーとお会いする度にその不安は自然と消えていきました。私が上手くいかない時は「人生は冒険であるから大丈夫よ」と励ましてくれました。この言葉を聞く度もっと頑張らないと思いました。また、私にアメリカの様々な文化について教えていただきました。Yvonneは朝早くにDylanを学校に送り仕事をして大変で疲れている様子であった。私が朝早い時や夜遅い時は学校までの送迎を快く受け入れてくれました。1ヶ月という短い間でYvonneがホストマザーとして出来る事を沢山してくれました。この家族と過ごした日々はとても貴重な体験であり、人生の中で最高の思い出です。また会える日を心待ちにしています。



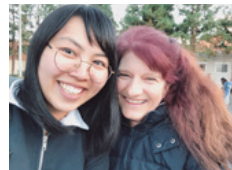
Kazuki Omata

私はアメリカ研修に参加し、1か月間のホームステイを経験しました。私はホストマザーと3人の娘さん、中国人の男子留学生、日本人の留学生、その他女性の方一人という大人で生活している家庭にお世話になりました。基本お風呂の時間や食事の時間などは決まっていなく、とても自由に過ごせました。私は日本人留学生という共通点のあるYURIさんとすぐに打ち解けて仲良くなり、一緒にお買い物に行ったり、ご飯を食べに行ったりしました。とても楽しかったです。ホストマザーはとても優しくフレンドリーな方で、本当の家族のように接してくれて心の温かさを感じました。また、日常生活の中で積極的に英語でコミュニケーションをとったり、慣れない環境の中での生活を通して自分自身を大きく成長させることができました。とても充実した1か月でした。



Rina Ishikawa

私のホストファミリーはホストマザーのJill Shelton、娘のKelly Shelton、犬が3匹でした。初めてのホームステイはとても貴重な体験でとても良い思い出を作ることができました。ホストマザーのJillはとても優しく、英語を話すスピードに気遣ってくれました。なかなか理解できなかった私に、バス停から家までを分かりやすく紙に地図を描いてくれたことは忘れられません。娘のKellyはとても明るく、気軽に話しかけてくれたのでとても喋りやすかったです。



なかなか英語が上手く話せず伝えるのに苦戦しましたが、家に帰った時や夕飯の時に2人と話すのがとても楽しかったです。

1か月間家族のように接してくれたJillとKellyに出会えて本当に良かったです。

Miyu Isowa

私がホームステイした家庭は、母のリンディー、父のダグ、息子のプライス、ペットの犬のズーウィという素敵な家庭でした。初めてのホームステイだったのでとても緊張しましたが、家族で温かく迎えてくれました。日本と違い、家の中を外靴で過ごすアメリカンなスタイルだったのでその文化に慣れるまで少し時間がかかりましたがあまり干渉してこない家族だったので、のびのびと1か月過ごす事が出来ました。



夜は母のリンディーは仕事で帰りが遅く、ほぼ毎日父のダグが夜ご飯を作ってくれました。特に手作りのハンバーガーは格別でした。夕食後は、みんなで映画を見て、一緒に笑ったり、驚いたり感情を共有できたのは良い思い出です。

息子のプライスは、買い物や休日の散歩、学校の課題に付き合ってくれたり、分からないところは翻訳を使い分かるまで教えようとしてくれました。最後には、「必ず戻って来いよ」と言われ、また絶対に会いに行きたいと思いました。これほど充実した1か月を過ごせたことはとても幸せです。

Yuto Kaneta

Dear our host families
Thank you for
your kindness 😊
Best wishes,



鳥喰 もも

@momo_toribami



私が、研修に参加したきっかけは英語力を伸ばしたいと思ったからです。1か月間UCIで仲間とともに切磋

琢磨し英語を学習した体験は私にとって宝物です。仲間から大きなエネルギーをもらえました。日本に帰っても英語学習を頑張ろうと思いました。

さらに、学習面だけではなく、アメリカの文化やUCIの学生やホストファミリーなどたくさんの人とかがかわることができました。文化に触れることで、自分の価値観が変化したり、日本とアメリカの文化の良さを発見したりすることができました。日本ではできないような体験ができるのでぜひ参加してもらいたいです。きっと自分にとって貴重な経験になると思います。



糟谷 未来

@miki_kasuya



今回この1ヶ月の研修を通して、英語の向上だけでなく、様々なことを学習できました。ホームステイをすることで現地の日常生活を体験することができ、現地の学生と友達になることで交友関係が広がりました。最初は、英語しか使えないとても戸惑いでしたが、周りのサポートのおかげもあり、現地の環境に慣れることができました。とてもいい経験になりました。



磯崎 文香

@ayaka_isozaki



研修を通して異文化、自ら行動することの大切さ、人との繋がりの素晴らしさを学びました。日本では言

わなくても察するという文化のようなものがありますが、アメリカでは言わないと分かってもらえないため自分を積極的に表現したり意見を持つことのも大切さも学びました。また異文化に触れることで普通が普通でなくなったりと様々な経験をすることが出来ました。何よりも考え方や物の見方が大きく変わり、自発的に行動する力と問題解決する力を身に付けられたことが大きな収穫でした。異なる環境で過ごし自分自身大きく成長することが出来ました。1カ月という短い期間でしたがアメリカで過ごした時間は私にとって大切な宝物です。研修に参加して本当に良かったです。



尾又 和樹

@kazuki_omata



私は研修に参加し、沢山の事を学ぶ事ができました。その中で一番大事だと思った事は、自分の意思を伝える

事の重要性です。今まで私は自分の意思を伝える事が苦手だったが、この研修を通して苦手を克服できたと思います。この経験は自分自身にとっての良い挫折であると感じました。なので、今後もこの経験を生かしていきたいと思っています。また、これらの経験は値段以上の価値があると身を持って感じる事ができました。自分が思っている以上に充実した日々を送れて満足しています。今後はこの留学経験を生かし、色々な活動を積極的に行っていきたいと思っています。少しでも海外や留学に興味・関心を持っているのであれば、迷う事なく参加して欲しいです。



金田 悠歩

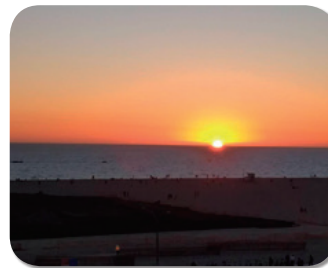
@yuto_kaneta



生まれて初めて行く海外が今回のアメリカ研修でした。起きることの全てが新鮮で、着いて数日は朝起きてから現実

感がありませんでした。気候はカラッとしていて、半袖でも長袖でも過ごしやすかったです。ホームステイという体験もし、文化を肌で感じる事が出来ました。現地の学生と交流していると、言葉が通じなくても積極的に話しかけてきたり、アクションを起こしたりしていて、コミュニケーションをとるのは言葉だけではないと感じました。

この研修に参加して、1カ月がこんなにも短く感じたのは人生で初めてとても充実していました。アクティビティーで、ハリウッドやディズニーランド、サンタモニカなど行きましたが、言葉ではとても表現しきれないので、気になっている人は参加して体験してほしいと思います。後悔は絶対しません。



小森 賢人

@kento_komori



今回のアメリカ留学を通して現地で生活するホームステイの方々や大学生の方と共に有意義なひとときを

過ごすことが出来て良かったと改めて実感しています。日本で生活する中で便利な分野が海外では全くそうではなく、むしろ生活するのに初めは苦勞する部分が多かったことが印象に残っています。ホームステイや大学生生活を通じて、現地で生活する人々の状況を十分に把握することができ、この1ヶ月間は本当に新鮮味が溢れており幅広い価値観や知識を蓄えることができたと思います。英語を学ぶ環境も充実しており、英語力の向上にも繋げることが出来たので自分自身の成長が得られた貴重な経験でした。



飯村 和樹 
@kazuki_imura



私が留学をしようと決意した理由は、兄が以前タイへ留学をしました。あまり快活な人物ではありませんでしたが、留学を終えると見違えました。それほど強烈な経験が出来る留学に興味が出来たから参加することに決めました。

留学で一番よかったことは、食事がおいしいことです。特に中華が最高でした。お店で注文するとき、何度も聞き返し聞き返され心が折れましたが、何回もやることで逆に楽しくなりました。何事も経験です。UCIの学生は、まさしく精鋭な感じでした。楽しむために全力を尽くしている、あるいは自己を示すために生きる。私の想像するアメリカ人がそこにいました。その原動力はもっと高めに行きたいという、向上心だと思いました。

私はこの留学を経て、外国に挑戦するという気持ちが芽生えました。外国に行くことは身構えるほどのことではありません。たくさんのことを知れた留学でしたが、その気持ちや経験が一番の成果だと思います。



千葉 武 
@takeru_chiba



とにかく満足できる海外研修になりました。はじめは英語の授業が毎日あって、春休みなのに授業受けたくないなどと思っていました。でも、授業内容がわかりやすく面白くて、終わった今では授業受けることができてよかったと思っています。最初は本当に英語が聞き取れなくて、こんな環境で生活できるのかと心配していましたが、積極的に話しかけることや英語を聞き取る努力を続けることで一週間ぐらいいして耳が慣れてきて少しずつわかるようになりました。学校がない日は毎日バスケットボールを買ったり買い物したりして時間を忘れてしまうくらい楽しかったです。日本とは全く違う文化を経験することで、自分の視点や考え方が広がったと感じています。機会があればアメリカ、違う国にも行ってみたいと思える研修になりました。



磯和 美佑 
@miyu_isowa



今回の研修は私にとって何もかもがとても素敵な思い出になりました。初めての海外ということもあり、不安もありましたがそれよりも楽しみのほうが大きかったです。行きの飛行機では雲の上にいることに感動し、全く寝られないくらいワクワクとドキドキでいっぱいでした。アメリカでの生活は毎日が楽しく、いろいろなお店を見てたくさんお買い物もできたので良かったです。また、毎日英語で話す機会がなかったのもとても新鮮でした。

1ヵ月間の研修はアメリカの文化や環境を学べるとも良い経験でした。今回一緒に研修に参加したみなさんをはじめ、様々な人たちと出会い、コミュニケーションをとれたので私の中でとても濃く有意義な1ヵ月間でした。またいつか必ずアメリカに行きたいと思います。



木村 優希 
@yuki_kimura



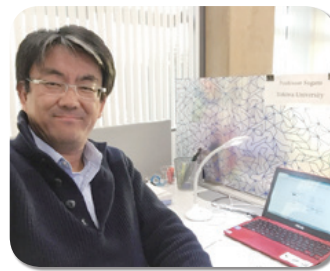
授業は全部英語、もちろんわからないことを聞かせる時も英語で慣れない環境の中での授業はきついと思っていたが、むしろ毎日が楽しくて仕方がなかった。逆にわからないことが多すぎて、知りたいことだらけだった。積極性、自信を向上させることができたと思う。他にも、free activityやlocal basketballのチームに参加してたくさんの人にも関わっていい経験をした。UCIの生徒などたくさんの人と交流し、コミュニケーション力も向上した気がする。また、知らない環境に知識0で飛び込んでも、自分の行動、やる気次第でいい経験、思い出になると感じさせる研修だった。※お昼はCE-3で電子レンジがあるので、自炊した物やtargetでは\$2で食べれるピッツァを温め\$3でバナナを買って食べるのもおすすめです。自炊することもおすすめです。



石川 莉那 
@rina_ishikawa



私は研修に参加し、とても充実した1ヵ月を過ごすことができました。研修前はアメリカでの生活や英語に対する不安が多くありましたが、実際にアメリカに行き、素敵な出会いや環境に恵まれ、そのような不安はなくなり、毎日が楽しさとワクワクでいっぱいでした。他大学の学生との出会いは、英語学習においてとても刺激になりました。現地の方はみんな優しくフレンドリーで、困っているときは声をかけてくれたり、助けてくれる温かさがとても嬉しかったです。UCIでは英語を学んだり、学生と交流し、異文化や価値観の違いについても学ぶことができました。休日は、アクティビティーに参加したり、友達と出かけたりして、アメリカでしかできない多くの貴重な経験をすることができました。この研修に参加して本当に良かったです。



菅田浩一郎 
@kouichiro_sugata



今年度の「海外研修アメリカ」では、対米進出に向かう茨城県企業の展示会を訪問したり、現地在住の日本人子弟の人づくりにまい進するオレンジ学園校長に生きる智慧を学んだり、はたまた、ソニーアメリカでキャリア形成する日本人社員に自己実現についてお話を聞くなど、英語学修・異文化交流に加えて、国際キャリアを考える多種多様な企画を展開しました。南カリフォルニアの太陽の下、学生達は積極的に参加し、大いに楽しみ、濃密な日々を過ごし、一生の思い出を作り、急激に成長したと思います。この「海外研修アメリカ」の勢いを、次の代にも引き継ぎ、是非とも常磐大学・常磐短大の伝統にしていきたいものです。

